

安全に関わる情報

○救命設備

Mid-Blue 定員 38 名

・救命胴衣：場所 前方船室

腰巻タイプ：手動膨張式大人用 16 着

ベストタイプ：固型式大人用 22 着（うち船橋に 5 着）

ベストタイプ：固型式子供用 7 着（うち船橋に 2 着）

救命浮輪／救命浮環：2 個

膨張式浮器：6 名用 3 艇

Lily 定員 10 名

・救命胴衣：場所 左舷前方ソファ下

腰巻タイプ：手動膨張式大人用 11 着

ベストタイプ：固型式大人用 5 着

救命浮輪／救命浮環：1 個

アニー 定員 12 名

・救命胴衣：場所 前方船室

腰巻タイプ：手動膨張式大人用 14 着

ベストタイプ：固型式子供用 1 着

救命浮輪／救命浮環：1 個

ルーカス 定員 123 名

・救命胴衣：場所 船内両舷上部棚

ベストタイプ：固型式大人用 75 着

ベストタイプ：子供用 16 着

救命浮輪／救命浮環：2 個 場所：船橋

救命浮器：12 名用 8 台

祝良屋丸 定員 53 名

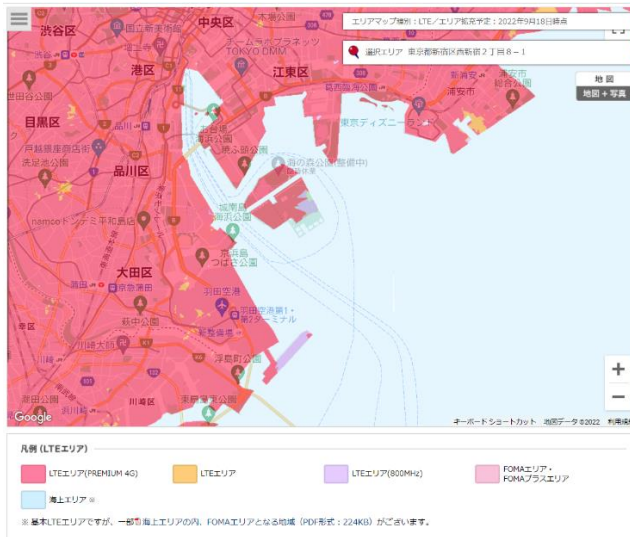
・救命胴衣：場所 船内両舷下部引き戸

ベストタイプ：固型式大人用 50 着

救命浮輪／救命浮環：6 個

○無線設備

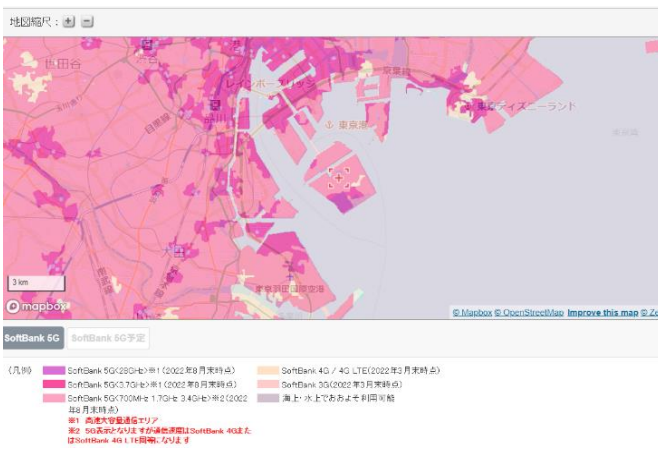
東京湾近郊平水域運航区域に付き、携帯電話を法定設備として利用【主に KDDI】
docomo



KDDI



Softbank



・船客傷害賠償保険賠償限度額：

一人あたり 3000 万円×旅客定員数 もしくは 600 億円のいずれか低い額

・契約期間：R4 年 4 月 1 日～R5 年 3 月 31 日

①運航可との判断に至った情報

各気象サイトおよび海上保安庁提供海の安全情報

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/03kanku/tokyo/>



②気象・海象による運航中止の基準

東京港 夢の島マリーナ 基準

風速 15m/s 以上

波高 1.5m 以上

視程 300m 以下

③緊急時の対応等（当該船舶に搭載している救命設備・避難に関する説明等）

●救命具の扱い方

救命胴衣

手動膨張式(腰巻タイプ)

・腰に巻くタイプになります。

バックルが前、手動レバー(紐)が左側に来るように救命胴衣を腰に巻き付けてバックルで固定します。

万が一落水した際、手動レバー(紐)を引っ張ることで膨張させることができます。

固型式(ベストタイプ)

前方から首にかけ、腰についている紐を胴体に一周させて前方で取れないように結び装着します。

発泡スチロールなどの浮力体で構成されているので、落水時に操作することはありません。

・救命浮器

構造はいたってシンプルで、発泡スチロールで構成されている為、難しい操作をせずに水に浮きます。

浮力体の横につかみ索があるので、しっかりと保持します。

・膨張式浮器

膨張式救命浮器は、水中に落とした際自動で展張致します。

また、落水者に対しても投げ込んで水上で自動膨張させ、水難救助に威力を発揮します。

自動膨張所要時間は 10 秒程です。

●緊急時対応について

火災ならびに沈没の恐れがある場合、速やかにスタッフの指示に従い貴重品ならびに手荷物は持たずにライフジャケットの着用、甲板上に集合をお願いいたします。

救命浮器の展張操作はスタッフが行うので特別指示が無い場合はお手を触れないようお願いいたします。

また、非常時に入水する際は低体温症防止の為、ライフジャケットの下に毛布や上着を羽織り入水後は HELP(熱放出低減)姿勢を行い出来るだけ体温を奪われないようにしてください。



●航路特有の説明

東京港内は建物や陸地に囲われているため、比較的穏やかです。

南風の場合は多少船が揺れることがありますが、お台場や豊洲方面で航行することにより、揺れを抑えることができます。